

移動等円滑化取組報告書（鉄道車両）

（令和元年度）

住 所 神戸市兵庫区新開地1丁目3番24号

事業者名 神戸電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 寺田 信彦

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 鉄道車両を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる鉄道車両	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
車両の更新	新型車両の6500系（移動円滑化基準適合車両）を1編成導入する（2019年度）	1編成導入した (2020年2月27日)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
係員による声掛け、支援の実施 無人駅等における係員の派遣	・介助が必要な方への声掛けおよび乗降の補助や誘導を実施。また、介助を断られた場合でも見守りを実施する。 ・フリーダイヤルを活用し、ご利用前に係員を派遣し乗降の支援を継続して実施する。	継続実施

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
ホームページによる情報提供 駅務遠隔システムによる情報提供	・各駅のバリアフリー設備の一覧を掲出する。 ・ハンドル形電動車いすをご利用のお客さまへ事前に案内する。 ・駅務遠隔システムのインターホンおよびカメラの近くに筆談用のボード（簡易案内端末）を付設し、筆談と音声による案内（会話）を実施する。（順次設置する予定）	2019年度長田駅に筆談用簡易案内端末を設置

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
外部講師および障害者団体との連携による教育訓練の実施	・2017年に兵庫県と「みんなの声掛け運動応援協定」を締結し、以後、障害者団体を講師に招き、白杖・車イスの介助等に関する教育訓練を定期的実施する。 ・地方自治体主催のバリアフリー研修に参加する。 ・指導監督者を中心に、交通エコロジー・モビリティ財団が主催する「交通サポートマネージャー研修」に参加する。	・障害者団体の講師を招き、駅係員を対象に車イス・聴覚障害をお持ちの方への介助について教育を実施 ・交通エコロジー・モビリティ財団が主催の「交通サポートマネージャー研修」に4名参加

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

特になし

(3) その他

特になし

II. 鉄道車両の移動等円滑化の達成状況

(令和2年3月31日現在)

鉄道の種類	事業の用に供している編成数 (両)	公共交通移動等円滑化基準省令に適合した編成数 (両)	車椅子スペースの数が公共交通移動等円滑化基準省令の規定を満たしている編成数	便所のある編成数	便所のある編成のうち車いす対応型便所のある編成数	案内装置のある編成数	車両間転落防止設備のある編成数
普通鉄道(その他)	43 編成 155 (両)	19 編成 69 (両)	43 編成	編成	編成	19 編成	43 編成
(合計)	43 編成 155 (両)	19 編成 69 (両)	43 編成	0 編成	0 編成	19 編成	43 編成

Ⅲ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6条の2で定める要件に関する事項

<p>(1) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が1000万人以上である。</p>	<p>○</p>
<p>(2) 過去3年度における1年度当たりの平均の輸送人員が100万人以上1000万人未満であり、かつ、以下のいずれかに該当する。 ①中小企業者でない。 ②大企業者である公共交通事業者等が自社の株式を50%以上所有しているか、又は自社に対し50%以上出資している中小企業者である。</p>	